



2011年4月25日

報道関係各社 御中

桃山学院大学の学生が地域の人たちと協力し、 2つの東日本大震災復興支援イベントを開催（ご報告）

桃山学院大学では4月23日（土）に、大学付近の商業施設「エコーいずみアムゼモール」において、「がんばれ東北 がんばろう日本 いずみフェスティバル」と「東日本大震災チャリティーコンサート in オアシス」を開催した。いずれも同大学生が中心となって、地域の人々と協力しながらパフォーマンスや募金活動を行った。あいにくの天気だったが、学生らのパフォーマンスに買い物客も足を止め、募金に協力する姿が目立った。

<<記事本文>>

「がんばれ東北 がんばろう日本 いずみフェスティバル」は、桃山学院大学で日頃よりボランティア活動に取り組む学生らが中心となって開催するチャリティーイベント。当日は、学生団体によるパフォーマンスのほか、同大学教員と特定非営利活動法人「ゆめ風基金」代表理事による対談「障がい市民の被災からの救出について」や福祉作業所による物品販売などを行った。

当日の物品販売などによる収益の一部18,670円と25,139円の募金（計43,809円）が被災者障がい者を支援する団体「ゆめ風基金（※）」を通じ、被災地へ送られる。

「東日本大震災チャリティーコンサート in オアシス」では経営学部牧野ゼミが、文部科学省平成22年度「就業力GP」採択プログラム「実践教育による『社会人力』育成プログラム」の活動の一環として、和泉中央駅近くにある福祉喫茶「オアシス」と共同で募金を呼びかけた。天候により一部のプログラムを中止したが、同大サークルによる講演や演奏のほか、和泉市青少年リーダー会によるゲーム大会なども実施した。

当日の売り上げの一部12,334円と81,083円の募金（計93,417円）が福祉喫茶「オアシス」より日本赤十字社を通じて被災地へ送られる。

※特定非営利活動法人「ゆめ風基金」

阪神淡路大震災の救援活動を教訓に生まれた、被災者障がい者支援団体。阪神大震災はもとより、北関東豪雨、トルコと台湾大地震、有珠山噴火、東海豪雨、鳥取地震、インドとエルサルバドル大地震、十勝沖地震、北陸豪雨などにおいて累計39,074,009円の支援をしている。

当日はあいにくの天気だったが、学生らのパフォーマンスや募金呼びかけに、買い物客も足を止め、募金に協力する姿が目立った。

桃山学院大学では、今後も支援活動を継続していく予定。



【関連サイト】

- 地震に対する本学の対応について

<http://www.andrew.ac.jp/newsttopics/2011/04/330.php>

- 平成22年度「就業力GP」採択 実践教育による「社会人力」育成プログラム

<http://www.andrew.ac.jp/gp2010/>